

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

平成27年度分			
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る	
具体的な施策	イ	ふるさとづくりの推進	
	3	地域を支えるインフラ・サービスの活性化	
事業名	町民体育館大規模改修事業		
担当課名	生涯学習課	所属長名	宇戸佐一郎
関係課名			
事業の目的	町民が安心して安全にスポーツに親しむことが出来るスポーツ施設の整備・機能充実を図ると共に、安全安心な避難場所を確保し、地域防災の強化を図る。		
事業の内容	有川総合体育館大規模改修（屋根改修・非常用電源（自家発電機）整備・非常食等用備蓄倉庫整備・トイレ改修ほか）		
事業の実績・取組状況	有川総合体育館大規模改修実施設計委託契約まで実施 （実質の実実施設計業務及び改修工事はH28年度に繰り越して実施 199,574千円）		
成果（できたこと）	町内の主要体育施設の改修に取り掛かることができた。		
課題（できなかったこと）	なし		
担当課評価	B	計画どおりの実施設計が出来た。現在、改修工事を行っている。	
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	有川、奈良尾、新魚目総合体育館及び上郷体育館は町主要体育館である。 4体育館については、今後も計画的な改修に努める。 有川総合体育館・・・H28年度 奈良尾総合体育館・・・H28～29年度 新魚目総合体育館・・・H30～31年度 上郷体育館・・・改修済み		
委員評価	B	2次評価のとおり	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

平成27年度分			
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る	
具体的な施策	イ	ふるさとづくりの推進	
	3	地域を支えるインフラ・サービスの活性化	
事業名	運動公園改修事業		
担当課名	建設課	所属長名	本田 雄 喜 治
関係課名	教育委員会 生涯学習課		
事業の目的	運動公園について、今後進展する老朽化に対する安全性の確保、機能の確保及びライフサイクルコストの縮減の観点から、予防保全型管理による長寿命化対策を含めた計画的な維持管理・更新を的確におこなうことを目的とする。		
事業の内容	有川運動公園の長寿命化計画の基づいた改修工事		
事業の実績・取組状況	有川運動公園施設長寿命化対策工事測量設計業務委託 10,001千円 ・テニスコート改修実施設計 1式 ・野球場照明実施設計 1式 ・野球場スコアボード設計 1式 ・地質調査業務（スウェーデン式サウンディング試験） 1式 （3-ア-①-1 都市公園整備事業と事業内容は同一）		
成果（できたこと）	テニス場、野球場照明、野球場スコアボードの設計で4～6案の中から、ライフサイクルコスト等を考慮した設計をおこなった。		
課題（できなかったこと）	野球場照明、野球場スコアボードの基礎の設計としてスウェーデン式サウンディング試験を実施したが、地盤の状況が想定以上に悪く、ボーリング調査等の地質調査が必要。		
担当課評価	B	長寿命化計画どおり事業は進捗されている。	
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	H28年度にボーリング調査等を実施し、野球場照明、野球場スコアボードの基礎構造に反映させる。		
委員評価	B	2次評価のとおり	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。